

2020年6月海洋観測結果について

5月26日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

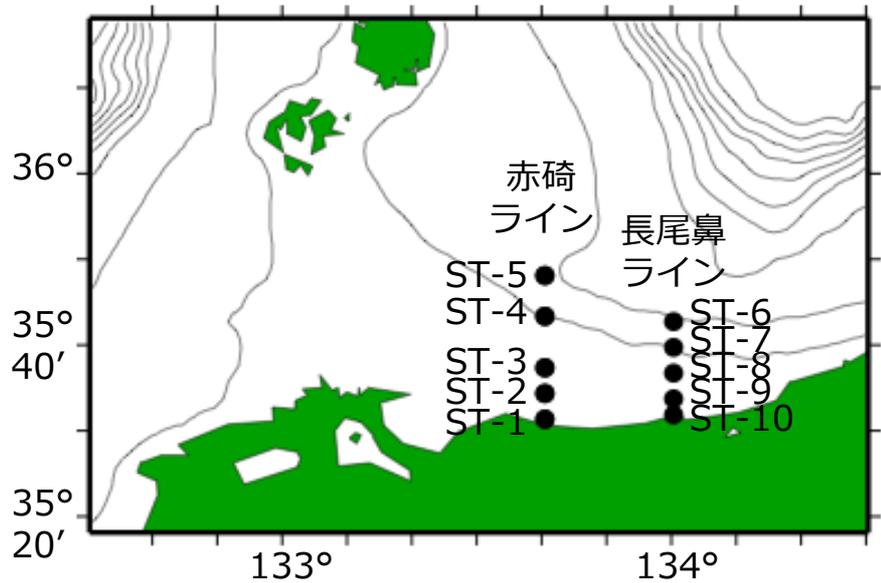
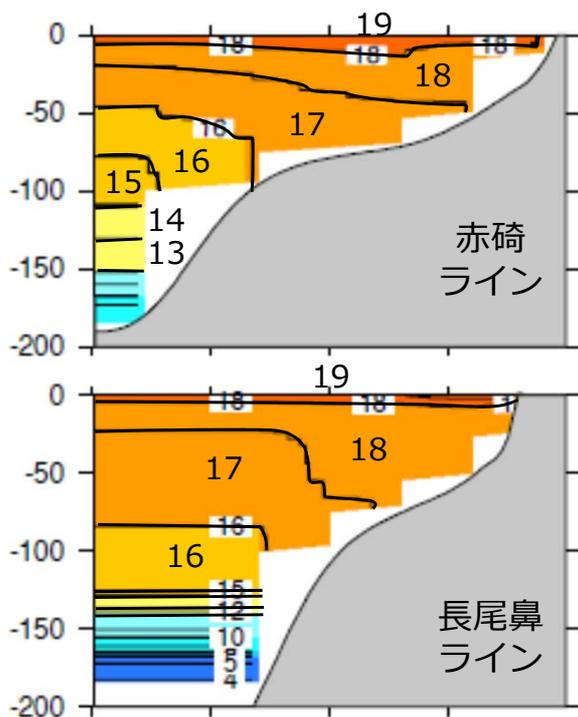


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ラインでは水深150m帯まで緩やかな温度低下が見られました。長尾鼻ラインでは、水深125mから水深184mにかけて15℃→4℃と大きく温度が低下していました。



★情報★

- ・サルパ類は終息した模様です。
- ・夜光虫による赤潮（赤色）が例年より遅く見られています。
※夜光虫は魚や貝類を死滅させる有害赤潮ではありません



図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【6月観測の水深帯別の比較】

赤碕ラインでは平年並み、長尾ラインでは50m、90m水深帯でやや高めな結果になりました（表2）。今年は、山陰若狭沖冷水塊が離岸傾向にあり、その影響が県中部の沿岸にも影響している模様です。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2020年	18.4	17.0	16.6	15.4	18.9	17.1	17.0	16.2
前年	19.6	17.5	16.6	16.0	20.0	17.4	16.5	15.6
2010-19年平均	18.5	17.1	16.6	15.6	18.6	16.9	16.4	15.3
平年差	0.0	-0.2	-0.1	-0.2	0.3	0.2	0.6	0.9

【2020年3月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの2月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を大きく下回った魚種は、サワラ、スルメイカで、前年、5年平均を大きく上回った魚種はブリ（ハマチ銘柄）、ヒラマサでした。

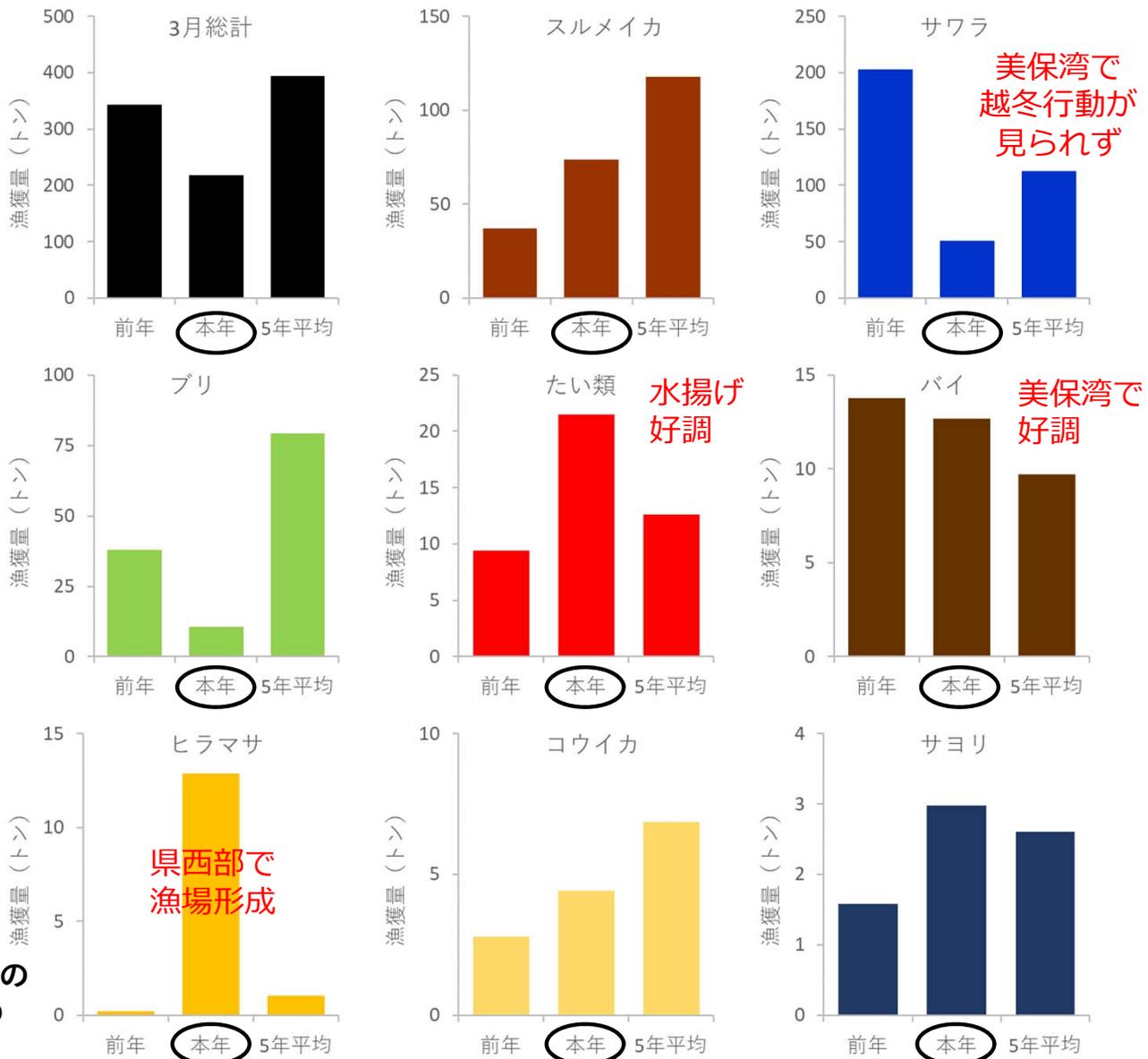


図3 3月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況